

# 木材の地産地消

切りたての木は想像以上に重たい。林業の現場では、木を切ることの苦勞よりも切った整理する方が圧倒的に体力を使います。その重さと大きさ故に運送に多大なコストを必要とします。また、人件費や燃料費の高騰により、丸太を板などの木材にするコストも増大しており、これらのしわ寄せは森林所有者や林業事業者へと転嫁されている現状です。これらの問題に対処するため、私は木材の地産地消を推進したいと考え、活動しています。今月は市内のお店で、市内産ひのきを使ったアロマディフューザーの販売するお手伝いをさせていただきました。

## 藤岡市産ひのきの アロマディフューザー

ひのきの香りを楽しめるインテリアとして、前橋市の木工作家であるアカゲラクラフトさんが製作しているアロマディフューザー。その藤岡バージョンが完成しました。本体から土台まで、市内の木材にこだわりたい多くの方に協力いただきました。本体は法久で林業を営む木村さん、土台は神流湖のほとりで民宿をされていたKさんから提供していただきました。



▶藤岡ひのきのアロマディフューザー。浄法寺のばあばのシフォンで販売していただいています。

## アカゲラクラフト 山田裕久さん

木工作家で木材コーディネーター。アロマディフューザーやクスノキ缶など、木工製品の製作と販売をしている。木材の地産地消にこだわりがあり、木材を扱う事業者や一般の方と林業従事者をつなぐ活動、木工のワークショップ、キャンプ場運営など、山に関わることを広く行っている。

## 木村正治さん

父から受け継いだ100ha以上の山林を守るため、林業を続けている。昔からよく整備されている木村さんのひのき林は、明るい光が差し込み、良質な木材が採れる。ディフューザーの本体に使用するひのきの原木を提供していただきました。

## Kさん

数年前まで神流湖のほとりで民宿を営んでいた。90代とは思えない軽快な足取りで所有する山に案内していただき、土台の木材を探していただきました。



## 長谷川 隆春

北海道出身の24歳。前職で公務員として林業に携わり、もっと林業に関わりたくて協力隊に着任。自分の山をもって林業家として定住すべく活動中。

SNSでお気軽にご連絡ください！



◎森林課

0274-40-2316

